

報道関係各位

2018年7月4日

メディアスホールディングス株式会社

目次

1. メディアスホールディングスの概要 … P2
2. 新たにグループに加わった3社の紹介 … P3
 - ① 株式会社ミタス
 - ② ディーセンス株式会社
 - ③ 石川医療器株式会社
3. 株式会社ミタス 宮地社長インタビュー … P4

◆ TOPICS

株式会社ミタスおよびディーセンス株式会社、石川医療器株式会社の3社が新たにメディアスホールディングスグループへ

2018年7月より、北陸圏有数の総合医療機器ディーラーであるミタスと、ミタスの関連会社である、同エリアにおいて循環器科、脳神経外科分野の医療機器の販売を行うディーセンス、福祉介護用品の販売、レンタルを行う石川医療器が、メディアスホールディングスグループに加わりました。

3社を新たに迎えたことにより、グループシナジーによる北陸エリアにおける営業基盤の強化を通じて、当グループのさらなる企業価値の向上が可能となります。

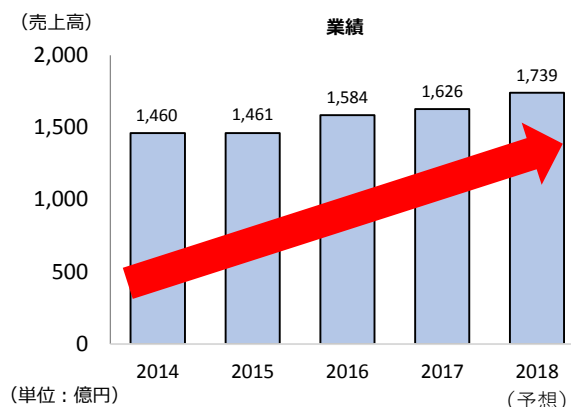
今後も当グループでは、経営理念である「地域医療への貢献」をさらに推し進めるべく、多様化する医療機関からのニーズに応え、信頼のある高度な医療環境の創出を目指します。

- 本資料に関するお問い合わせ先 -

メディアスホールディングス株式会社
コーポレートコミュニケーション室
MAIL : c-com.office@medius.co.jp

1. メディアスホールディングスの概要

会社名 メディアスホールディングス株式会社
代表者 代表取締役社長 池谷 保彦 (いけや やすひこ)
資本金 1,285,270千円 (2018年3月末現在)
売上 1,626億円 (2017年6月期)
従業員数 1,431名 (2018年3月末現在)
事業内容 グループ会社の経営管理及びそれに付帯する業務
上場市場 東証1部
所在地 東京都中央区京橋1丁目1番1号八重洲ダイビル
設立 2009年7月



企業理念：『地域医療への貢献』

地域に適応した付加価値の高いサービスの提供、最新の情報提供等を通じて、地域社会、ひいては国民全体の健康で豊かな生活に貢献しています。

メディアスグループの主力事業

- ①医療機器販売事業： 注射器・手袋などの消耗品から先端医療機器まで、30万種以上の医療機器を全国の医療施設に販売（修理・メンテナンスも実施）
- ②介護・福祉事業： 医療施設や介護施設、医療機器販売業者、一般個人向けに移乗機器および電動ベッド等の介護福祉機器を販売・レンタル
- ③ソリューション事業： 物流管理システム「ASOURCE・STORE」や手術業務支援ソフトウェア「SURGLane®」や医療材料データベース・医療材料分析サービス「meccul」などのソリューションサービスを提供

◆グループ会社13社、拠点数約65以上（2018年7月現在）

医療機器総合販売

株式会社秋田医科器械店、株式会社ジオット、株式会社栗原医療器械店、協和医器械株式会社、株式会社ミタス

循環器専門販売

株式会社ネットワーク、株式会社オズ、ヴィッツジャパン株式会社、ディーセンス株式会社

介護福祉機器販売

株式会社ケアフォース、石川医療器株式会社

医療機器修理・メンテナンス

株式会社メディカルバイオサイエンス

ソリューションサービス

メディアスソリューション株式会社

2. 新たにグループに加わった3社の紹介

会社名：株式会社ミタス
売上：155億745万円（2018年3月期）
従業員数：165名（2018年3月末現在）



北陸3県で、有数の医療機器販売会社です。電子カルテや病院内全体のシステム提案などを行う医療情報システムグループをはじめ、体外診断機器グループ、画像診断機器グループなど、各医療機器の専門営業部を抱え、医師や看護師の皆様が治療に専念できる環境づくりを支えています。また、福井県内では唯一SPDの物流センターを持ち、北陸3県の病院の物品管理を簡便化し、病院経営をサポートしています。さらに、準備から経営支援にも重点を置いた、開院サポートを行っています。

専門営業部

- 医療情報システムグループ：電子カルテ、各部門システム、コメディカルシステム等、院内全体のシステム提案を通してドクターや医療スタッフの円滑な業務をサポート。
- E&Sグループ：内視鏡・顕微鏡や外科製品といった機器を取り扱う。最新の機器に関する情報を提供し、ニーズに合った機器を提案。
- 体外診断機器グループ：血液検査や尿検査など行う医療機器を取り扱う。最新の体外診断機器に関する様々な情報を提供。
- 画像診断機器グループ：最新鋭のCT、MRI、エコー、レントゲン装置まで幅広い機器を取り扱う。診療のIT化における効率の良い画像診断環境の構築もサポート。



SPDセンター

SPDとは：病院内で流通するあらゆる物品の物流管理の中央化・効率化

【ミタスのSPDセンターの特長】

- ・福井県内唯一
 - ・医療材料を院内の各部署まで直接配送・定数設置
 - ・コスト負担は病院側の使用分のみ
- ➔ 病院所有の在庫削減、余分なストックや期限切れなどの不良在庫のリスクを軽減。



会社名：ディーセンス株式会社



株式会社ミタスの関連会社であるディーセンスは、北陸3県において循環器科及び脳神経外科分野の医療機器の販売を中心に事業展開を行っています。血管内治療のエキスパート集団としてあらゆるメーカーの製品知識を持ち、医療従事者の様々なニーズにワンストップで対応します。CDR（ペースメーカー／植込み型除細動器関連情報担当者）認定などの資格を有する専門スタッフが医療従事者を対象に、メーカー技術情報をレクチャーする教育事業にも注力しています。

会社名：石川医療器株式会社



株式会社ミタスの関連会社である石川医療器は、石川県を中心に、38年にわたり医療機関や福祉施設を対象に介護福祉機器の販売を行っています。また、一般個人向けの福祉用具レンタルや住宅改修等の提案を行うなど、地域福祉を支えています。株式会社ミタス、ディーセンス株式会社と連携を図り、北陸3県の医療・福祉に貢献しています。

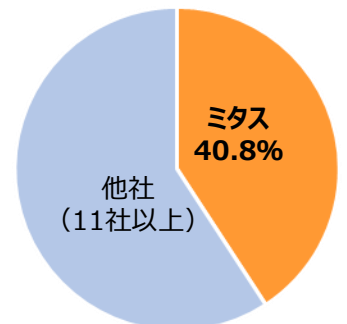
3. 株式会社ミタス 社長インタビュー



株式会社ミタス 代表取締役社長 宮地 修平

略歴：1974年生まれ。1998年横浜商科大学卒業、東芝メディカルシステムズ（現：キヤノンメディカルシステムズ）入社。2006年に福井医療（現：ミタス）入社、同社専務取締役就任。2009年に同社代表取締役社長（現任）となる。2017年にメディアスホールディングス 取締役（現任）就任。

福井県におけるシェア（2016年度）



(※) 出典：株式会社アールアンドディ
「医療機器・用品年鑑 2018年版
(30版・全3巻) No.1 市場分析編」

◆株式会社ミタス（以下、ミタス）について

弊社は、北陸3県で展開している医療機器販売会社です。各医療機器の専門営業部を持ち、患者や医療関係者の負担を軽減する最新の機器やシステムの情報の提供を通して、医療サービスの質の向上を支援しています。

また、福井県内で唯一であるSPDセンターを通して、北陸3県の病院の物品管理・経営をサポートしています。

福井県でのシェアは40.8%（2016年度）（※）で、長年にわたり福井県内の多くの医療機関にサービスを提供しています。

◆メディアスグループという強みを活かし、課題にも対応

メディアスグループに入ったことにより、仕入力および販売力の強化が可能となります。こうした基盤力の拡充に加え、現在の医療現場が抱える課題に対しては、価格や数だけでなく、いかに付加価値のある質の高いサービスを提供できるかが重要だと感じています。

近年、福井県では人口減少が深刻化し、医療関係者の人手不足も加速しています。メディアスグループに入ったことで、ミタスのこれまでの北陸での実績にメディアスのノウハウやソリューションサービスなどが新たに加わり、より付加価値の高い提案やサービスを提供が可能となり、人口減少や人手不足といった課題へ対応の突破口になると考えています。

◆金沢支店を起点に北陸圏のシェア拡大を目指す

今後の展望としては、まず北陸3県でのシェアを確実に増やすことを目標としています。そのために金沢支店を注力拠点として強化します。金沢支店は、ガラス張りの空間にミタス、ディーセンス、石川医療器の社員が在籍し、お互いがどのような仕事をしているのかが分かりやすくコミュニケーションの取りやすい拠点です。北陸圏の中心地である金沢の拠点をさらに強化することで、福井県でのシェアを維持しつつ、石川、富山での存在感をより示していきます。

また、現在SPDセンターは福井のみですが、今後は金沢や富山にもSPDセンターを置くことを目指し、さらに北陸圏内の病院の物流管理の整備を促進していくことで、石川、富山でのシェア獲得を図ります。



ミタス 金沢支店

将来的には、メディアスグループでまだカバーしきれていない地域、主に西日本方面への進出も視野に入れていきます。そのためにもまず第一歩として、北陸での存在感を確固たるものにしていきたいと考えています。

さらに、グループ会社への出向や教育システム、評価制度を取り入れることで社員一人ひとりの営業力をはじめとするスキルアップを推進します。北陸圏内にとどまらず、多様な環境に身を置き、様々な意見を持った人々と交流することで広い視野と柔軟性を持った人材の育成に取り組めます。

◆社名の由来

「ミタス (MITAS)」という社名には、“満たす”という日本語の響きと、Medical Instruments, Technology and Servicesの頭文字を取り、「医療機器、技術、サービスの提供によってお客様のニーズとハートを満たす」という想いが込められています。同時に、お客様だけではなく「社員満足度も満たす」ことも目指しています。

◆社員の平均年齢は約38.3歳、変革を積極的に進める

創業から71年ですが、社員の平均年齢は約38.3歳で、北陸圏の競合他社と比べても若く、勢いのある会社です。70余年にわたる歴史や培ってきた経験を大切にしつつも、変えていくべきところは変えていくという思いで、若い感覚を大切にしています。



◆社員同士、社員の家族との絆を大切に

部活動が盛んで、社員の7～8割ほどが部活に属しています。3人から部を発足することができ種類も読書や野球、音楽など多岐にわたります。中には全国のお菓子を取り寄せる、お取り寄せ同好会などユニークな部活もあります。同じ部署の先輩後輩という縦のつながりだけでなく、部署の枠を超えた横断的な交流の場となっています。

また、恒例行事として夏祭りを行っています。社員は子どもたちやご両親などを連れて参加し、家族に自分達の働いている環境を見せる良い機会となっています。

部活動例

読書の会

野球部

ゴルフ同好会

お取り寄せ同好会

ソフトスポーツ部

フットサルクラブ

マッスル同好会

音楽同好会



以上